

料金後納
郵便

不二サッシは窓から夢をひろげていきます

Fujisash Report

FUJISASH 2019年4月1日 ▶ 2019年9月30日 | 証券コード: 5940 Vol.06

※本通信は9月末時点での株主様にお送りしています。

株主名簿管理人連絡先

三井住友信託銀行 証券代行部

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

◀ 営業概況はこちら

☐ 濡れている場合はよく乾かしてからめくってください。

TOPICS

平成30年度 日本アルミニウム協会賞『開発賞』を受賞

当社の「ウインドウリフォームシリーズ」が、一般社団法人日本アルミニウム協会が選考する「平成30年度 日本アルミニウム協会賞」において、「開発賞」を受賞いたしました。

「ウインドウリフォームシリーズ」は角度が自由に換えられるルーバーの採用により、時間帯や暮らしに合わせて日よけ・採風等を自在にコントロールでき、できるだけエアコンに頼らない生活をお手伝いする日射遮蔽商品です。また、外部からの視線を遮りながら換気や採風ができ防犯抑止効果にも役立ちます。

当社は今後も技術力向上に努め、環境に配慮した製品を開発し、社会的貢献と企業価値向上に取り組んでまいります。



【受賞対象製品】

アルミニウム製外付け
可動ルーバー製品
(ウインドウリフォーム
シリーズ)

GOOD DESIGN AWARD
2019年度受賞

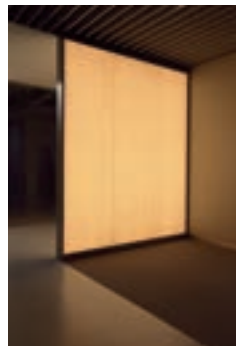
2019年度グッドデザイン賞受賞 — 光建材『アルビームプラス光壁』 —

当社の光建材商品「アルビームプラス光壁」が、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する「2019年度グッドデザイン賞」を受賞いたしました。

《受賞商品の概要》

「アルビームプラス」は建材と照明の融合をコンセプトとした商品シリーズです。

「アルビームプラス光壁」は、建物のエントランスなどで多用されるガラスによる光壁を、従来では実現できなかった薄さで均一に発光させる新方式の光壁です。独自設計したLEDパネルを使用することで、極薄の壁厚に仕上げられ、有効床面積を最大限に得られるという大きなメリットが生まれました。



薄さを利用し間仕切りとして施工



店舗の有効床面積を最大限に実現

株主の皆様へ

株主の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素より格別のご支援ご愛顧を賜り、誠に有り難うございます。

このたび、当社の第39期第2四半期（2019年4月1日から2019年9月30日まで）が終了しましたので、事業の概況をご報告申し上げます。



代表取締役社長 吉田 勉

2019年12月



不二サッシ株式会社

〒212-0058
神奈川県川崎市幸区鹿島田1丁目1番2号
新川崎三井ビルディング
<http://www.fujisash.co.jp/>

当第2四半期の営業概況について

当第2四半期連結累計期間の当社グループ（当社及び連結子会社）の業績は、主力とするビルサッシを中心とした建材事業分野においては、マンションの着工戸数に持ち直しの傾向がありますが新設住宅着工戸数全体では減少が続いており、先行き不透明な状況です。形材外販事業においては、物量は確保したものの、アルミ精密加工品の売上減少や諸資材価格上昇の影響により厳しい事業環境となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高422億7千9百万円（前年同四半期比4.7%増）、営業損失10億円（前年同四半期は営業損失10億2千1百万円）、経常損失9億6千4百万円（前年同四半期は経常損失10億6千6百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失11億2百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失13億8千6百万円）となりました。

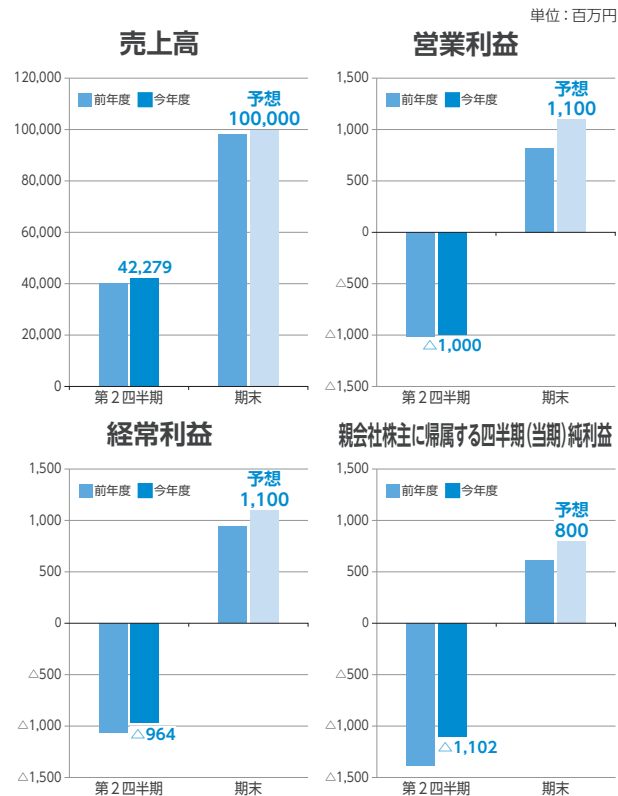
2020年3月期の業績予想について

期初公表どおり売上高は1,000億円、営業利益11億円、経常利益11億円、親会社株主に帰属する当期純利益8億円を予想しております。

なお、2020年3月期の配当は、期初公表どおり1株あたり1円50銭を予想しております。

株主の皆様におかれましては、今後とも引き続き変わらぬご支援ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

連結業績推移



記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。